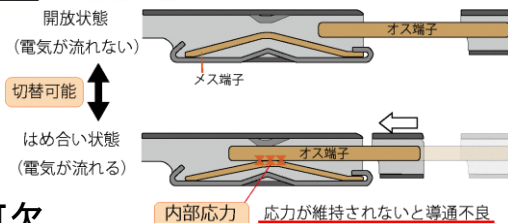
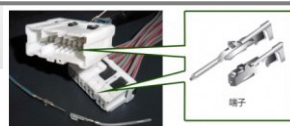


背景

自動車の電動化、多機能化

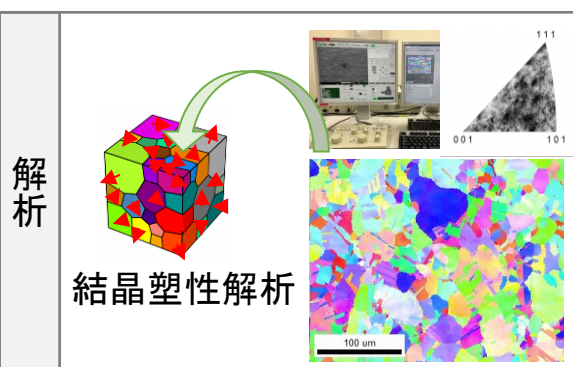
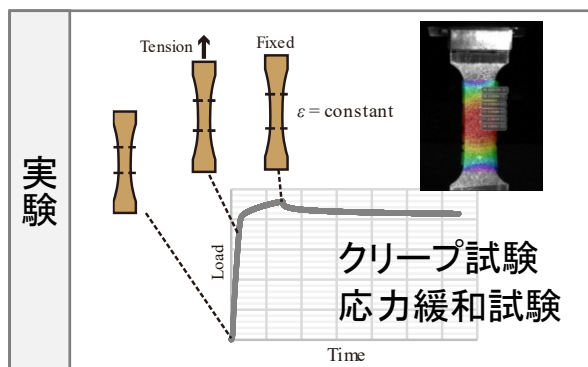
電子部品を接続する
コネクタの軽量化ニーズ

銅合金端子の応力緩和を制御する技術が不可欠

目的

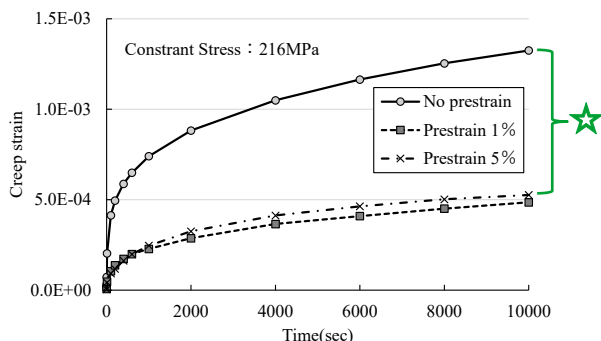
銅薄板の応力緩和を低減させる条件の発見および解析モデルの作成

方法

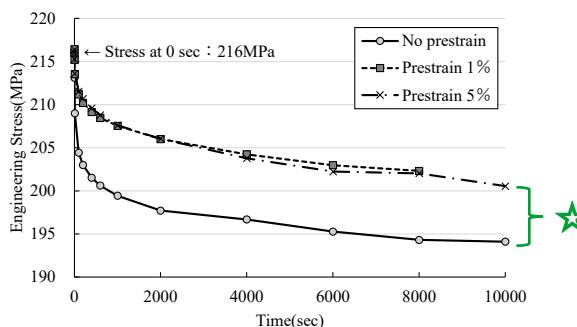


結果

応力緩和とクリープ現象を一体的にとらえて、実験および解析を実施

★ 予ひずみによる影響
緩和・クリープ⇒小

クリープ試験



応力緩和試験

予ひずみによって応力緩和は低減、解析による予測には課題